

A-16 暗唱しよう 慣用句（体の一部シリーズ）

対象学年

3・4学年

指導のねらい

- 姿勢や口形、声の大きさなどに注意して、はっきりした発音で音読する。
- 長い間使われてきたことわざや慣用句などの意味を知り、使う。
- 暗唱できるようにくり返し練習する。

指導の展開

- ① 一行ずつ教師が読み、その後全員で読む。（山びこ読み）
- ② 前半を教師、後半を学級全体で読む。（交互読み）
- ③ 後半を学級全体、後半を教師が読む。（交互読み）
- ④ 慣用句の意味を確かめさせる。
- ⑤ たけのこ読みをする。
- ⑥ フラッシュカードを使って暗唱の練習をさせる。（プリントの順番通り）
- ⑦ フラッシュカードを使って暗唱の練習をさせる。（アットランダムに）
- ⑧ ペアで暗唱できたかチェックさせる。

評価の観点

- 姿勢や口形、声の大きさなどに注意して音読することができる。
- 暗唱できるように意欲的に練習することができる。